

桑名人協

平成5年8月1日
第 1 号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361

|| 美しく清らかに、そして個性的に ||

私の文化についての意識の中には、中央文化と地方文化という構図はありません。確かにニューヨークにはニューヨークの文化が、そしてサンフランシスコ、東京、ウイーン、フレンツェ等々にそれぞれに特有の文化があることは承知のとおりです。

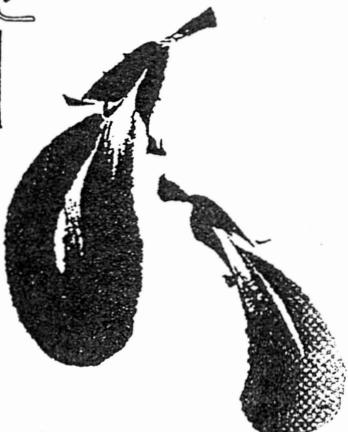
そこには大きい劇場や美術館、美しい博物館などがあることも事実です。しかし、文化はそこで文化を演出し鑑賞するときにのみ発生する精神活動の中に発生するものであると思います。その精神活動がない場合には文化は存在せず生きものになりません。

昨年荒廃している揖斐川河畔で薪

能が行なわれた時、思いの外沢山の市民が集まり、充分堪能しておられるのを見て私は大きい感動を覚えました。真夏の始まりの石採祭もそうです。普段のありふれた時間と空間が、その活気に満ち溢れ文化に満たされ、渦巻き燃えさかるのです。

静謐な書、はなやかな絵、クレージーなロック等々それぞれの動きの中に心の中に文化が息づいていますし、それ以外のスペースでは文化は死んでいます。

文化は、所謂文化人の手のみによるものではありません。決してそうであってはならないのです。政治家も経済人も農家の方々も文化に参加し、文化人であるべきです。少なくとも人間であるためにはそうであるべきであると思います。文化を専門とする人々のために産業人はそのスボンサーとなるべきであり、政治家



は文化について大きい配慮をすべきであると思います。それが人間社会のあり方であり、戦乱に明け暮れた

室町末期ですら現代にまで大きな影響を与えた文化をつくり上げました。

長い時間をかけてそれぞれの個性をもつた個人のすまいやお店に、それぞれの個性をもつたあるものをじみ出させ、総合的に美しい町をつくり上げるよう、ともに努力いたしましよう。

文化は「美しく清らかに」そしてできるならば、個性的であることを私は願っています。文化をもつということは、お金や地位をもつことよりさらに豊かな世界を手にすることだと思います。

桑名市文化協会△立総△云

成功裡に終わる！

六月二十七日（日）桑名市役所五階大会議室にて、三百余名の会員の参加のもと設立総会が開催されました。活発に意見が出されるなか、規約、協会役員、事業内容、予算の承認を得、桑名市文化協会は活動を開始します。

☆役員紹介

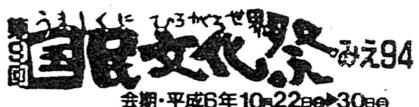
監事	会計	書記	理事			副会長	会長	顧問	中川重哉（桑名市長）
伊藤宏樹	水谷正吉	水谷桑丘	今村和子	岡重昭	西羽晃	水谷勉	大竹加藤武夫	上原巳喜子	内藤恵介

☆平成五年度事業計画

- ① 市民芸術文化祭委託事業
② 部門別事業
③ 市事業への協力
④ 会員活動の奨励
⑤ 顕彰に関すること

桑名市文化協会

会長 佐藤勤三



会期・平成6年10月22日～30日